

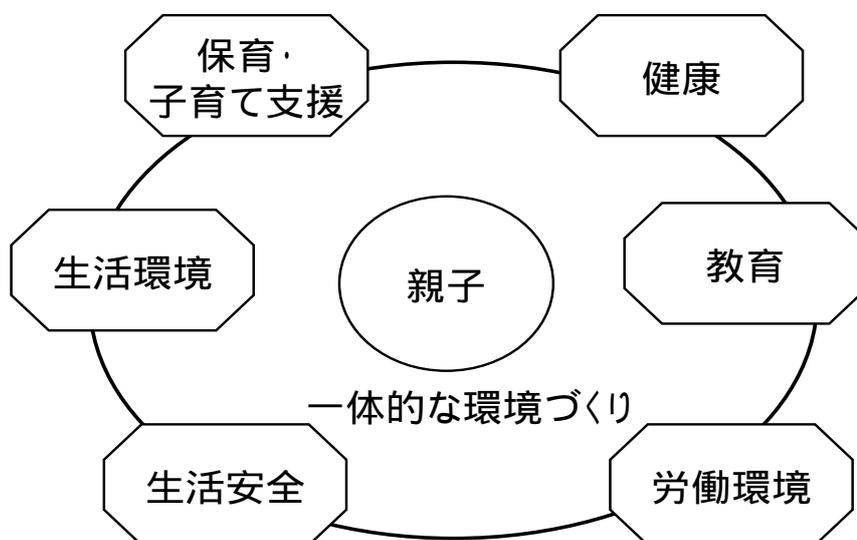
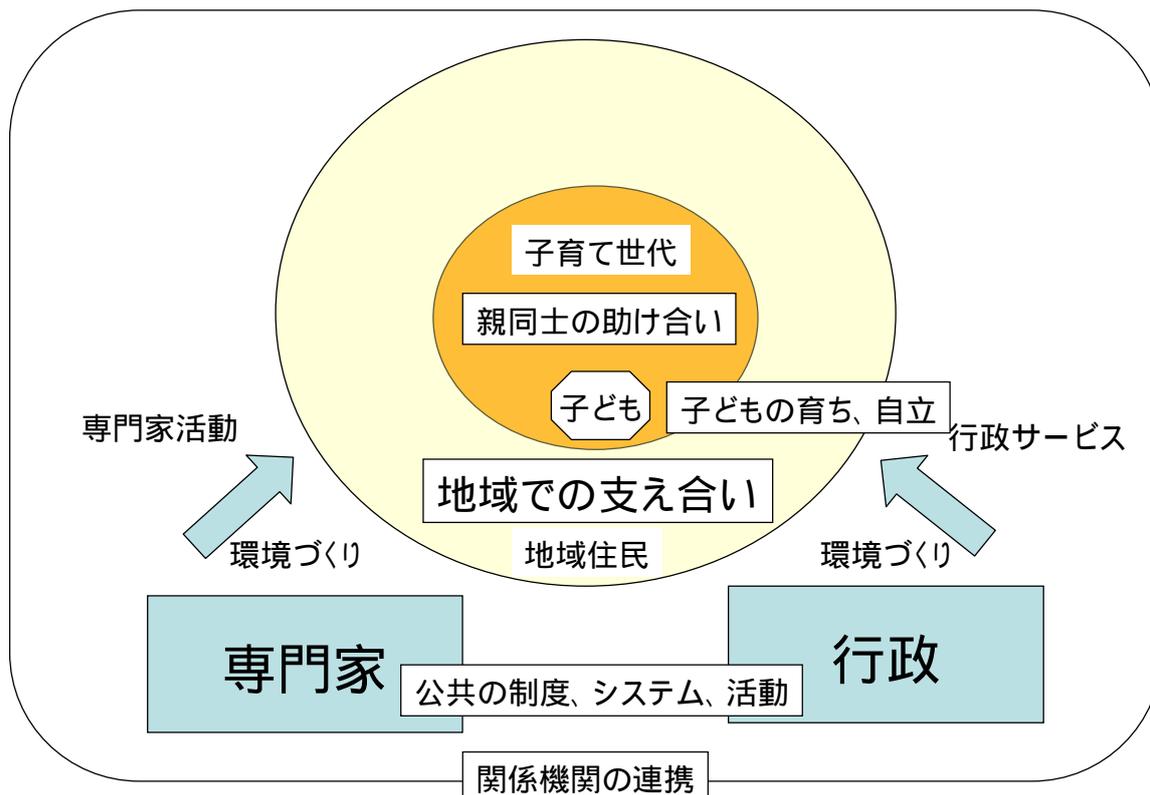
第5章 「めざす姿」を実現するための活動

「めざす姿」を実現するための活動

めざす姿を実現するためには、「めざす姿」の実現に必要なことに対応した地域での活動を展開していくことが必要です。

これには、まず、家庭での取り組みが必要ですが、家庭の中だけでは限界があります。家庭を取り巻く環境を、よりよいものに変えていくことが大切です。そのためには、地域ぐるみで取り組むことが必要です。

地域ぐるみの次世代育成



「めざす姿」を実現するための活動（行動計画）

家庭での取り組み

- ・ 人間性、思いやりをはぐくむ子育てをする
- ・ 個性を生かす
- ・ 夢を持たせる
- ・ 適切なしつけをする
- ・ 生きるための技術や学力を身につけさせる
- ・ 危険な場所や行動をきちんと教える
- ・ 家族そろって健康に気をつける
- ・ 子育てに悩んだり、問題が生じたら相談する

次世代の育成は、まず家庭から取り組む必要があります。
しかし、これらの行動を達成するのは、家庭の中だけでは限界があります。
そこで、本計画では地域ぐるみの行動によって、家庭を助け、次世代の育成をめざします。

地域での取り組み

親同士の助け合いを大切にする

自助とピアサポート（仲間支援）機能を持った親グループを育成します。

コミュニティで次世代育成を支える

地域住民や関係機関を中心とする子育てサポートグループを育成します。
ことに、地域住民が次世代を育てるという観点から、地域住民の活動を重要視します。

必要な制度、システムを作る

子育て支援のための公的サービスを充実します。

関係機関が連携する

計画は、福祉、保健、医療、教育をはじめ生活環境の広い分野にまたがっています。
そのため、これらの関係機関（専門家）が連携してすすめる必要があります。
また、計画は行政内部でも多数の担当部署に分かれていますので、行政関係者により、行政施策を検討、管理するプロジェクトチームにより推進します。